

珍しい管弦楽曲 イギリス Minor Orchestra Works UK

作曲者		生没年	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
Copriani Potter	ポッター	1792-1871	序奏とロンド(1827) ピアノと管弦楽のために	※※	特に印象がありません。		555 274-2	cpo
			シンベリンへの序曲(1836)	☆☆☆☆	シンベリンはシェイクスピアの戯曲の名前です。俗っぽく聞き映えがします。		555 274-2	cpo
Hubert Parry	パリー	1848-1918	交響的変奏曲(1897)	※※	テーマはイギリス風な感じですが、全体的には聞きどころがありません。(13分)		COV 92017	Coviello
Charles Villiers Stanford	スタンフォード	1852-1924	イギリスの主題による演奏 会用変奏曲(1898)	☆☆☆☆	ピアノと管弦楽のための曲。主題と12の変奏。イギリス風な響きを味わえます。本来は変奏曲の間は途切れず連続して演奏しているのを、このCDでは変奏曲ごとに区切っているので聞きづらいです。27分。		50-1101	Claves
			アイルランド狂詩曲第1番 (1901)	☆☆☆☆	中間部にロンドンデリーの歌の旋律が登場します。		CHAN 8627	CHANDOS
George Butterworth	バターワース	1855-1916	青柳の堤 オーケストラのための牧歌 (1913)	☆☆☆☆	イギリス民謡に基づくさわやかな曲です。ヴォーンウィリアムズのイギリス民謡組曲に登場する民謡も出てきます。		CRCB-6029	NIPPON CROWN
Rdward Elgar	エルガー	1857-1934	序曲”南国にて”(1904)	※※	南国とはイタリアのことです。あまり魅力的ではありません。(20分)		CRCB-6031	NIPPON CROWN
Frederic Theodore Albert Delius	ディーリアス	1862-1934	春を告げるカッコウを聞いて(1912)	★★★★★	”小オーケストラのための2つの小品”の中の1曲目。イギリスの田園風の音楽が続き、中ごろでやっとクラリネットがカッコウの鳴き声を吹きはじめます。		ASV-9	クラウンレコード
			ヘンリー8世への音楽より3 つの舞曲 (1891)	※※	8分。ヘンリー8世的な雰囲気は感じられません。		8.555171	NAXOS
			ジプシー組曲 (1889-1892)	☆☆☆☆	4曲で14分。タイトルから予想される内容の曲。通俗的に楽しいです。		8.555171	NAXOS

Edward Geraman	ジャーマン	1862-1936	The Tempter 子守歌	※※	3分。子守歌らしい曲です。		8.555171	NAXOS
			ロミオとジュリエット 前奏曲(1895)	※※	チャイコフスキーの曲とは大違いの軽い曲です。		CDLX 7156	Dutton
			ロミオとジュリエット 3つの舞曲(1895)	※※	3曲で14分。ロミオとジュリエットの雰囲気は感じられません。		8.555171	NAXOS
			劇音楽 テンプター 序曲(1897)	※※	ごく気楽な音楽です。		CDLX 7156	Dutton
			交響詩 ハムレット(1897)	※※	少しは変化があります。		CDLX 7156	Dutton
			Nell Gwyn 序曲と3つの舞曲(1900)	※※	序曲の後半にはギリス民謡風な旋律も登場。特に魅力なし(17分)		8.555171	NAXOS
			トムジョーンズ(1907) 第3幕よりFor Tonight	※※	3分。ワルツです。		8.555171	NAXOS
			Merry England Suite (1902-1908)	※※	4曲で7分。似たような傾向の軽音楽としては、20歳ほど年下のエリック・コーツのほうが聞き映えがします。		8.555171	NAXOS
			柳の歌(1922)	※※	古い有名な旋律の編曲です。		CDLX 7156	Dutton
Granville Bantock	バントック	1868-1946	ロシアの情景(1899)	※※	ロシア風味は薄いです。		8.555473	NAXOS
			古いイギリスの組曲(1909)	※※	イギリス民謡の単純な編曲。面白みはありません。		8.555473	NAXOS
Ralph VaughanWilliams	ヴォーン・ウィリアムズ	1872-1958	タリスの主題による幻想曲 (1910)	★★★★★	2重弦楽オーケストラのための作品。タリスは16世紀のイギリスの作曲家。深い弦の響きが堪能できます。	○	230E 51038	キングレコード
			揚げひばり(1921)	★★★★★	原題はThe Lark ascending で、昇っていくひばりという意味です。副題はヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス。イギリスの田園が思い浮かぶさわやかな曲です。		230E 51038	キングレコード
			「富める人とラザロ」の5つの異版(1939)	★★★★★	ハープと弦楽のための作品。イギリス民謡を採譜していたRVWがこの旋律の5つの異なる形を集めたということでしょう。とても味わい深い曲です。		230E 51038	キングレコード

			弦楽オーケストラのための 合奏協奏曲(1950)	☆☆☆☆	ある程度弾ける人と初心者が一緒に弾けるようにしている教育用の作品ですが、気持ちのいい音がします。(17分)		CHAN 8629	CHANDOS
Gustav Holst	ホルスト	1874-1934	ウォルト・ホイットマン序曲 (1899)	※※	良くありそうな曲という印象です。		8.572914	NAXOS
			日本組曲(1915)	☆☆☆☆	欧米で活躍した日本人舞踏家からの依頼でバレエ組曲として書かれた6曲。日本の旋律はこの舞踏家から口述で教えられたもの。		8.572914	NAXOS
Josef Holbrooke .	ホルブルック	1878-1958	交響詩 ライアノンの 鳥たち(1923)	※※	ウエールズの伝説をもとにした曲。(14分)		555 041-2	cpo
			交響的変奏曲 別れたあの娘(1905)	※※	マーチ風のイギリス民謡を主題とする変化にとんだ15の変奏曲。(12分)		555 041-2 曲自体は連続して演奏されているのに、トラックの区切りをつけるために、曲の間に切れ目が入っているのが非常に不自然。	cpo
Cyril Scott	スコット	1879-1970	ある朝早く ピアノと管弦楽のための詩 (1931 1962改訂)	※※	朝の気分はよく味わえます。(14分)		CHAN 10376	CHANDOS
Arnold Bax	バックス	1883-1953	祝典序曲(1911)	☆☆☆☆	バックス風の旋律が次から次へと登場する豪華な曲です。(16分)		CHAN 8586	CHANDOS
			クリスマス・イブ(1912)	☆☆☆☆	讃美歌風の旋律を基調とする曲です。後半は大変盛り上がり、オルガンソロも登場します。(18分)		CHAN 8480	CHANDOS
			イラヴェルの踊り(1913)	☆☆☆☆	4つの管弦楽スケッチの第4番。ワルツ風な幻想曲。(5分)		CHAN 8454	CHANDOS
			自然交響詩”ニフォレプト” (1915)	※※	”ニンフに憑かれて”という詩に基づく曲。バックス風の響きを味わうことはできます。(18分)		CHAN 8493	CHANDOS
			交響詩”ティンタジェル” (1917)	※※	前半はおだやかで後半は盛り上がります。ティンタジェルはイングランドの地名。(15分)		CHAN 8312	CHANDOS
			ロシア組曲(1919)	※※	3曲からなります。ロシア風味は薄いです。(19分)		CHAN 8669	CHANDOS
			テノール独唱と管弦楽のための4つの歌(1921)	※※	独唱に豪華な伴奏がついています。(22分)		CHAN 8628	CHANDOS
			ピーアン(1938)	★★★★★	短い行進曲風の旋律に基づく豪快なパッサカリア。(3分)		CHAN 8454	CHANDOS
George Dyson	ダイソン	1883-1964	陣羽織亭にて 序曲	※※	11分。中間に聞き映えのする部分があります。		8.55772	NAXOS

Eric Coates	コーツ	1886-1957	”浮かれ人”序曲(1922)	☆☆☆☆	エリック・コーツはペルシャの市場にてを少し高度にしたような通俗曲をたくさん書いた作曲家です。第2主題の民謡風の旋律はイギリス音楽に良くあるパターンです。(5分)		CRCB-6016	NIPPON CROWN
			ロンドン組曲(1930年代)	☆☆☆☆	3曲の組曲。第2曲ではウエストミンスターの鐘の音が聞こえます。3曲目のマーチ風の曲が一番聞きやすいです。(15分)			
			結婚式の道化師(1930年代)	※※	おとぎ話に基づく6曲のバレエ組曲。特に聞くべき個所無し。(24分)			
			行進曲”コーリング・オール・ワーカーズ”(1940)	※※	派手に鳴る曲です。(3分)			
			組曲”3人のエリザベス”(1944)	☆☆☆☆	3曲の組曲。1曲目のファンファーレ+マーチや3曲目のマーチは聞きやすいです。(21分)			
			ダム・バスター・マーチ(1954)	☆☆☆☆	映画”暁きの出撃”の中の音楽。気持ちの良い音がします。(4分)			
Arthur Bilss	ブリス	1891-1975	弦楽合奏のための音楽(1935)	☆☆☆☆	3曲で23分。新しい響きがします。		CRCB-6073	NIPPON CROWN
Peter Warlock	ウォーロック	1894-1930	カプリオル組曲(1926)	☆☆☆☆	16世紀の舞曲を基にした6曲。聞きやすい曲です。		CRCB-6029	NIPPON CROWN
Ernest John Moeran	モーラン	1894-1950	シンフォニエッタ(1944)	☆☆☆☆	気持ちよく聴けます。		CRCB-6073	NIPPON CROWN
Gerald Raphael Finzi	フィンジ	1901-1956	ヴァイオリンと管弦楽のためのイントロイト	☆☆☆☆	作者によって撤回されたヴァイオリン協奏曲の第2楽章。気持ちよく聴けます。		CRCB-6029	NIPPON CROWN
William Walton	ウォルトン	1902-1983	小管弦楽のための”昼寝”(19261962)	※※	タイトル通りの軽い曲。5分。		CRCB-6071	NIPPON CROWN
			バレエ組曲”賢き乙女たち”(1940)	※※	バッハの作品の編曲によるバレエ組曲です。6曲で20分。			
			組曲”ヘンリー5世”より(1944)	☆☆☆☆	映画音楽からの2曲で5分。1曲目のパスカリア、2曲目共に聞きごたえがあります。			
			ヒンデミットの主題による変奏曲(1963)	☆☆☆☆	11曲で24分。ヒンデミットの画家マチス(1934)の一部の引用などもあります。		CRCB-6088	NIPPON CROWN
Aln Rawsthorne	ロースソーン	1905-1971	弦楽オーケストラのための協奏曲(1949)	※※	無機的な感じであまり楽しめません。		CRCB-6073	NIPPON CROWN
William Aiwyn	オルウィン	1905-1985	秋の伝説(1954)	※※	コールアングレと弦楽のための作品。面白みはありません。		SRCD230	Lyrita

Benjamin Frankel	フランケル	1906-1973	序曲”メーデー”(1948)	☆☆☆☆	ファンファーレやいろいろな要素がまじりあう楽しい曲です。		999661 交響曲全集	cpo
			メフィストフェレスの セレナードとダンス(1952)	☆☆☆☆	6分。チューバのソロで始まる、舞曲。変わった音がたくさん登場します。			
			シェイクスピア序曲(1956)	☆☆☆☆	10分。作曲者が12音技法に移る前の最後の作品とのこと。			
			祭典への序曲(1970)	☆☆☆☆	8分。タイトル通りの祝典的な雰囲気。			
Wordsworth W.	ワーズワース	1908-1988	ジュビレーション(196) オーケストラのための祝祭	※※	祝典の雰囲気はありますが、散漫です。		TOCC 0618	TOCCATA
			”春の祝祭”序曲(1970)	※※	特に印象がありません。		TOCC 0618	TOCCATA
			コンフルエンス(1976) 交響的変奏曲	※※	変奏曲であることは分かります。		TOCC 0618	TOCCATA
Ruth Gipps	ギップス	1921-1999	管弦楽のための歌(1938)	※※	標題通りの曲。特に魅力なし。(6分)		CHAN 20078	CHANDOS
			甲冑騎士(1940)	☆☆☆☆	中世の騎士を描いたような雰囲気があります。(10分)			
			交響詩 ”青白い馬に乗った死” (1943)	☆☆☆☆	同名の絵画に基づく。オーケストラが良く鳴っています。		CHAN 20161	CHANDOS
			序曲”シャンテクリア”(1944)	☆☆☆☆	おんどりのシャンテクリアを主人公とする動物だけが登場する未完のオペラの序曲。鳥の鳴き声も登場。		CHAN 20161	CHANDOS
			戴冠行進曲(1953)	☆☆☆☆	8分。1953年6月のエリザベス2世の戴冠式の際に、公式にではなく私的に作曲した曲。戴冠式に演奏されてはいません。		CHAN20284	CHANDOS
			グリンデルマイア・ガーデン (1962)	☆☆☆☆	弦楽合奏曲。7分。気持ちのいい響きがします。		CHAN20284	CHANDOS
			リヴァイアサン(1969)	☆☆☆☆	コントラファゴットと管弦楽のための作品。5分。コントラバスの音が良く聞こえます。イギリス風の音がします。		CHAN20319	CHANDOS
			アンバルワリア(1988)	※※	7分。亡くなった友人のために書いた曲。		CHAN20284	CHANDOS
Peter Maxwell Davies	ピーター マクスウェル デイ ヴィス	1934-2016	5つのクレーの絵 (1960 1976改訂)	※※	バリバリの現代音楽ではないが、分かりやすくはない。(10分)		COV 92017	Coviello

John Tavener	タヴナー	1944-2013	奇跡のヴェール(1987)	※※	チェロ独奏と弦楽合奏のための曲。チェロの神秘的な響きがききものですが全体を聞きとおすのはつらいです。(45分)		8.554388	NAXOS
Michael Nyman	ナイマン	1944-	MGV(1993)	★★★★★	フランスの高速鉄道TGVの旅を描いた曲。マイケル・ナイマン・バンドと管弦楽による演奏で大音響が響き渡り爽快な気分になれます。	○	POLCL-1437	ARGO